



廿日市市  
令和2年3月作成

# 大野第6区

# 土砂災害ハザードマップ

まずは地図上で「自宅」を見つけて、どのような危険があるかを確認してください！

※このハザードマップは大雨による土砂災害を想定しています。日頃の防災活動にお役立てください。  
※避難行動は「避難準備・高齢者等避難開始」発令時を基本としてください。

緊急時の連絡先  
大野支所 0829-55-2000 (代表)  
大野市民センター 0829-55-3251

ハザードマップに関するお問い合わせ  
廿日市市 総務部 危機管理課 大野支所 地域づくりグループ  
電話：0829-30-9102 電話：0829-30-2005

災害用伝言ダイヤル

伝言を録音する  
伝言を再生する

171  
局番なしで「171」をダイヤルし、音声ガイダンスにしたがって…

1  
「1」を選択

2  
「2」を選択

市外局番からの電話番号  
「被災地の方」は自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、「被災地以外の方」は連絡を取りたい被災地の方の電話番号をダイヤル

録音 30秒  
再生 30秒

### 土砂災害危険度情報と避難情報の発令

廿日市市では「土砂災害危険度情報(土砂災害警戒メッシュ情報)」を避難情報発令基準の一つとしています。土砂災害危険度情報とは、広島県内を5kmメッシュ(格子)に区切り、メッシュごとに土砂災害発生の危険度を示したものです。

■土砂災害危険度情報の画面例

●土砂災害危険度の凡例

- 実況で基準値超過
- 1時間後に基準値超過
- 2時間後に基準値超過
- 3時間後に基準値超過
- 大雨警戒(土砂災害)基準超過
- 大雨注意報基準超過

大野第6区はこのメッシュの着色により危険度を判断してください  
※土砂災害発生の危険性が無い場合は無色です

大雨警戒(土砂災害)が発表され、土砂災害危険度情報の基準を3時間後に超過(■)すると予測される場合、雨量状況を加味して「避難準備・高齢者等避難開始」が地区単位を自任に発令されます。

土砂災害危険度情報は、パソコンまたはスマートフォンで検索していただくか、テレビ(NHK広島放送局)のデータ放送(dボタン)でご確認ください。

### 土砂災害の凡例

地図上の凡例

がけ崩れ  
土石流

土砂災害特別警戒区域  
土砂災害警戒区域

●土砂災害特別警戒区域：建物が破壊され、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域  
●土砂災害警戒区域：土砂災害のおそれがある区域

■区域指定の基準

急傾斜地の高さ(h)  
10m以内  
急傾斜地の下端  
傾斜度 30度以上  
2h以内(ただし50mを超える場合は5.0m)

土石流のおそれのある渓流  
扇頂部  
土地の勾配2度

災害危険箇所は、避難を中心とした防災対策を進めるためのものであり、災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。区域内外に関わらず、早めの避難を心がけてください。

### 指定緊急避難場所の開設と注意事項

※「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合は、自宅周辺の災害危険箇所を確認した上で、指定緊急避難場所への移動や自宅での安全確保など、避難行動を開始してください。  
※避難情報発令の基準はハザードマップ凡例の「土砂災害危険度情報と避難情報の発令」を参考にしてください。

避難準備・高齢者等避難開始の発令時は 市民センターから開設されます

※指定緊急避難場所などの開設は市民センターから行い、災害の規模に応じ小中学校などを開設していきます。  
※指定緊急避難場所・指定避難所は災害の種類ごとに指定しています。各避難所の詳しい情報は、廿日市市ホームページをご確認ください。

※自主防災組織や町内会などで市民センター以外の施設を避難所として自主的に開設することもできます。

地域意見による自主開設の対象施設 ■上の浜集会所

緊急の場合はマップ上の指定緊急避難場所などに注意  
とらわれず近くの安全な場所に避難してください。

### マーク等の凡例

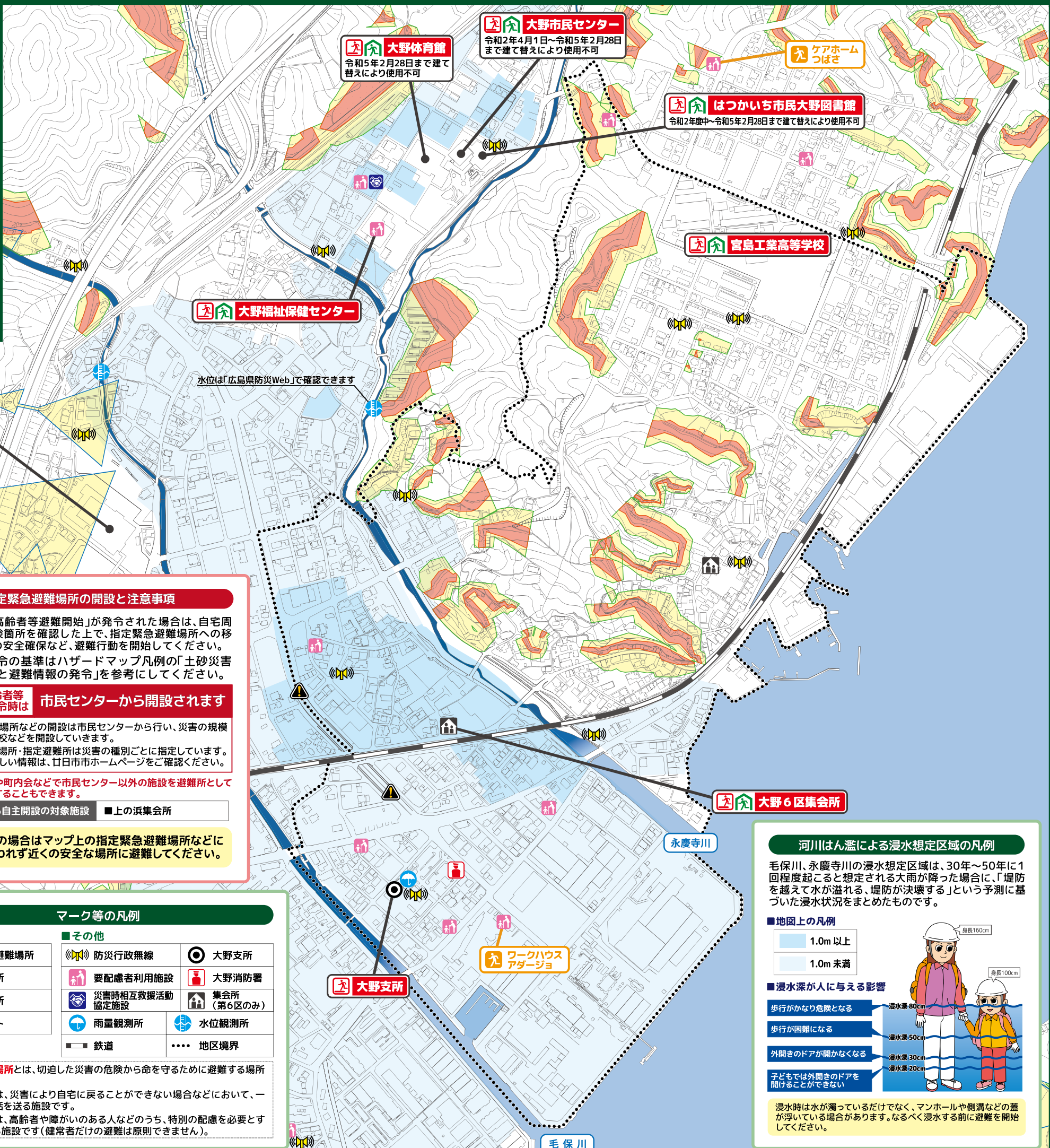
■避難情報

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 避難ルート

■その他

- 防災行政無線
- 要配慮者利用施設
- 災害時相互救援活動協定施設
- 雨量観測所
- 鉄道
- 大野支所
- 大野消防署
- 集会所(第6区のみ)
- 水位観測所
- 地区境界

●指定緊急避難場所とは、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。  
●指定避難所とは、災害により自宅に戻ることができない場合などにおいて、一定期間避難生活を送る施設です。  
●福祉避難所とは、高齢者や障がいのある人などのうち、特別の配慮を必要とする人が避難する施設です(健常者だけの避難は原則できません)。



### 河川はん濫による浸水想定区域の凡例

毛保川、永慶寺川の浸水想定区域は、30年～50年に1回程度起こると想定される大雨が降った場合に、「堤防を越えて水が溢れる、堤防が決壊する」という予測に基づいた浸水状況をまとめたものです。

■地図上の凡例

- 1.0m 以上
- 1.0m 未満

■浸水深が人に与える影響

- 歩行がかなり危険となる (浸水深80cm)
- 歩行が困難になる (浸水深50cm)
- 外開きのドアが開かなくなる (浸水深30cm)
- 子どもでも外開きのドアを開けることができない (浸水深20cm)

浸水時は水が濁っているだけでなく、マンホールや側溝などの蓋が浮いている場合があります。なるべく浸水する前に避難を開始してください。